

# キセキ便り 号外

## 2人目の軌跡・奇跡

8月に紹介した「確かな軌跡があり、奇跡を起こした1人の生徒」に続き、今回また、総合学習塾 キセキに通い、数か月を経て大きく成長した1人の生徒を保護者の皆様にご紹介しようと思います。

『やり直したい』彼女のその言葉は確かに私の心を打ちました。7月6日木曜日、総合学習塾 キセキに一人の女の子がやってきました。入塾希望者ということで、私と彼女、そして、彼女の母親との3者面談が始まりました。そこまでは、特に何も普段と変わらない3者面談のスタートだったのですが、彼女の過去の通知表を見ると、塾講師を6年以上務めた私の目には、初めて見るものばかり。5段階評価の数字だけでなく、遅刻や欠席、全てにおいて、「学習塾に通いたい」という数字ではないものばかり。「なぜ、この子は塾に通おうと思ったのか?」私の心の中でふと浮かんだ疑問。そこからは、3者面談というよりも、私と彼女の本気の2者面談。互いに自分の気持ちをごまかさず、過去に何があったのか?これから何がしたいのか?本音と本音でぶつかり合いました。

私:「なぜ、塾に通おうと思ったの?」

女の子:「友達の成績が上がっているから…」

私:「勉強の量は今までよりも、すごく増えると思うけど大丈夫?」

女の子:「はい。たぶん、大丈夫だと思います。」

彼女は、これまでに、すごく勉強をしたという経験がなかったのであろうか、少しだけ弱気な発言でした。だが、私の目に映ったのは、その言葉よりも彼女の眼でありました。すごく、「生きている。」何かを私に訴えかけている。自信のなきの言葉とは裏腹に、彼女の眼には何か強いものが瞳の奥に隠れているなあと思いながら、私は面談を続けていきました。

もう一步、彼女の中に隠れている何かを見つけなければならない。5分が経ち、10分が経ち、少しずつ見えてきたものがありました。彼女は、「自分の弱さを克服したいのだ」と。何か変わりたい。でも、どうやって変わればいいのかが分からぬ。そんな不安定な狭間に、彼女がいるのだと私は確信し、質問しました。

私:「きっと、学校に行かなかつたのではなくて、行けなかつたんだよね?」

女の子:「言葉を発することなく、目を下に向けながら人に気づかれないよううなづく。」

私:「そうか。よし分かった。もう一度だけ聞く!本当に勉強に取り組むんだよね?」

女の子:「はい!」(さっきの返事とは打って変わって、別人が応答したかのようだった)

続けて彼女は言った。

『やり直したいんです』

今でも鮮明に覚えています。確かな言葉の響きを!「弱い」少女が一步前へ踏み出した瞬間でした。

これまで、塾講師を務め「頑張ります。」「勉強します。」そう言いながらも、辛くなつた時に勉強から逃げる生徒を私は多く見てきました。だが、彼女の『やり直したい』その一言は紛れもなく、ちっぽけな一人の少女の力強い確かな言葉でした。

1日7時間を超える3年生の夏期講習！勉強が得意な応用クラスの生徒でも、少し根をあげそうな時間。どんなに辛くとも、彼女は逃げることなく教室の仲間と授業に一生懸命参加してくる。時折見せる、活発な発言！冗談なのか本当なのか分からぬが、「昨日、チカシサンに怒られる夢を見た～」「怖かった～」という、休み時間に見せる笑顔。学校から離れ、1ヶ月が経ち、すごい勢いで彼女は人として成長していました。そして、迎えた1学期期末テスト。彼女が私たちにもたらしてくれた結果は129人抜きという、キセキ始まって以来の大幅席次UP。だが、彼女の勢いは止まることなく、11月中旬に行われた2学期中間テストでは48人抜きの57位！入塾から計算すると177番UPを成し遂げたことになります！もちろん結果だけで生徒を評価するつもりはないですが、彼女の歩んだ軌跡に私は拍手を贈りたい。

授業の中で多くの生徒に私が語りかける言葉。「全てにおいて自分次第」「他人や環境のせいにするのではなく、まずは自分を見つめなさい。」私は、何かに力を委ねた瞬間、人は眠っている能力を十分に發揮することができないと思っています。大切なのは「自分の意志」。彼女には『やり直したい』という強い意志が確かにあったのだと思います。

彼女にもまだまだ「弱さ」は残っています。というよりも、人は皆「弱さ」を持ちながら生きているのだと思います。ただ、大切なのは彼女が私に見せてくれたように、自分に素直になり、自分の「弱さ」を受け止め、過去の自分に恥じることなく前に進むことではないでしょうか？私はまた、一人の生徒から大きなものを学びました。「有難う」と言いたい。いや、未だ「有難う」を伝えるには早い。私たちには3月に大きな戦いが待っています。その戦いが終わり、そして、あの時3者面談で誓った「今よりも人として強くなって、キセキを卒業しよう！」この誓いを果たし、卒業していく彼女を見届けるときに、私は彼女に「有難う」を伝えます。

2017年12月8日 総合学習塾 キセキ 代表 与那覇 親